

<第1会場:陸前高田コミュニティホール・大会議>

平成28年(2016年)12月23日(金・祝) 研究発表 第1会場(陸前高田コミュニティホール・大会議室) ※ポスター会場

司会:鎌滝孝信先生		
13:00-13:15	子吉川を対象とした塩分遡上に関する検討	○古仲陽輔(秋田大学工学資源学部土木環境工学科)、渡辺一也(秋田大学大学院理工学研究科)
13:15-13:30	秋田県南部沿岸の沖積低地にみられるイベント堆積物	○鎌滝孝信(秋田大学地方創生センター)、安部副史、金澤 慎(秋田大学工学資源学部)、松富英夫(秋田大学大学院理工学研究科)
13:30-13:45	青森県鰐ヶ沢町にみられるイベント堆積物	○熊谷秀平、梅田浩司(弘前大学理工学部)、鎌滝孝信(秋田大学地方創生センター)、小岩直人(弘前大学教育学部)
13:45-14:00	浮体式津波避難シェルターの挙動に関する検討～第二波目以降が最大津波高となるケースを想定した検討～	○藤井龍也(秋田大学工学資源学部土木環境工学科)、渡辺一也(秋田大学大学院理工学研究科)
14:00-14:15	津波氾濫水密度に関する定量的実験	○今野史子(秋田大学)・松富英夫(秋田大学)・後村晃基(秋田大学)・今藤晃太(秋田大学)
14:15-14:30	深淺データを用いた津波後の仙台湾海浜地形の回復過程に関する研究	○三枝信太郎(東北大学工学部建築社会環境工学科土木工学専攻)、田中仁(東北大学大学院工学研究科土木工学専攻)、三戸部佑太(東北大学大学院工学研究科土木工学専攻)
15:00-17:00	特別講演シンポジウム	
17:30-19:30	交流会(同ホール)	

平成28年(2016年)12月24日(土) 研究発表 第1会場(陸前高田コミュニティホール・大会議室)

9:00-9:50	地区総会	
司会:佐々木幹夫先生		
10:00-10:15	秋田県南部海岸における汀線位置変化動向と海域構造物規模の関係に関する実証研究	○鍵主佳飛(秋田大学)・松富英夫(秋田大学)
10:15-10:30	Analysis of erosion and accretion waves on Cua Dai Beach in Central Vietnam	○Dinh Van Duy(東北大学大学院工学研究科)、田中仁(東北大学大学院工学研究科)、三戸部佑太(東北大学大学院工学研究科)、Nguyen Trung Viet(Thuyloi University)
10:30-10:45	UAVを用いた高頻度海浜モニタリング	鈴木彰容(東北大学工学部建築社会環境工学科)、三戸部佑太(東北大学大学院工学研究科)、田中仁(東北大学大学院工学研究科)
10:45-11:00	我が国におけるヘドニック法を用いた砂浜の経済評価	○濱田佳那子(東北大学工学部建築・社会環境工学科)、有働恵子(東北大学災害科学国際研究所)
11:00-11:15	直線状の海岸砂丘上の風況特性に関する研究	○栗林司(東北大学工学部)、有働恵子(東北大学災害科学国際研究所)
11:15-11:30	三沢海岸2016年地形変動特性	○佐藤航(八戸工業大学工学部土木建築工学科)、佐々木幹夫(〃)
11:30-11:45	小川原湖汽水環境調査	○古村朋也(八戸工業大学工学部土木建築工学科)、佐々木幹夫(〃)、功刀智(鉄建建設株)
11:45-12:00	ポスター発表についての紹介(一人2分)	
12:00-13:00	昼食	
司会:久利美和先生		
13:00-13:15	林野火災発生数のグリット型推定モデルの構築	○押切ほたる(福島大学共生システム理工学類)、横尾善之(福島大学共生システム理工学類)
13:15-13:30	Applicability of the Curve Number Method for Estimating Flow Duration Curves in the Humid Tropics	○Chris Leong (Graduate School of Symbiotic Systems Science, Fukushima University)Yoshiyuki Yokoo (Graduate School of Symbiotic Systems Science, Fukushima University)
13:30-13:45	蔵王火山での無人観測装置の冬季運用試験	○谷島諒丞、山内元貴、大丸拓郎、大塚光(東北大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻)、久利美和(東北大学大学院 災害科学国際研究所 リーディング大学院)
13:45-14:00	東北地方太平洋沖地震後の大学理学分野からの情報発信における企画の趣旨・形態・規模について	久利美和(東北大学災害科学国際研究所)
14:00-14:15	被災地の経験を世界に発信する意義と世界防災フォーラムの役割	小野裕一(東北大学災害科学国際研究所)
14:15-14:30	休憩	
司会:梅田先生		
14:30-14:45	貯水池における濁水現象の将来予測に関する研究	○安松陸史(東北大学工学部建築社会環境工学科)、梅田信(東北大学大学院工学研究科土木工学専攻)
14:45-15:00	笹平川流域における水田貯留の実態調査	○相川大和(日本大学工学部土木工学科)、朝岡良浩(日本大学工学部土木工学科)
15:00-15:15	水温成層した貯水池における流速変動計測	○水田直樹(東北大学工学部建築・社会環境工学科土木工学専攻)、梅田信(東北大学 大学院工学研究科土木工学専攻)、小堀文裕(株式会社建設環境研究所)
15:15-15:30	水源貯水池における将来の藻類増殖と適応策効果の評価	○梅田信(東北大学工学研究科)
15:30-15:45	UAVを用いた水田地域の地形測量と水田区画データの作成	○木村健人(日本大学工学部土木工学科)朝岡良浩(日本大学工学部土木工学科)
15:45-16:00	UAVを用いた雪氷アルベドの空間モニタリング	○堀江健太(日本大学工学部土木工学科)、朝岡良浩(日本大学工学部土木工学科)、照井敬晶(日本大学工学部大学院工学研究科情報工学専攻)、若林裕之(日本大学工学部情報工学科)
16:00-16:15	阿賀野川流域における融雪出水の年変動	○西谷康平(日本大学工学部土木工学科)、朝岡良浩(日本大学工学部土木工学科)
16:15-16:30	熱帯アンデス地域の気候擾乱が氷河融解・流出量に及ぼす影響	○寺沢星泉(日本大学工学部土木工学科)、朝岡良浩(日本大学工学部土木工学科)、木内豪(東京工業大学大学院環境・社会理工学院)

ポスター1	熱帯水河の流動速度推定に向けた合成開口レーダー利用に関する基礎的検討	○松木 翔太(日本大学大学院工学研究科土木工学専攻)朝岡 良浩(日本大学工学部土木工学科)若林 裕之(日本大学工学部情報工学科)
ポスター2	マルチコプターでの空撮による鉄道橋に堆積した流木量の推定	○堀井 一希(岩手大学大学院) 松林由里子(岩手大学)小笠原敏昭(岩手大学)
ポスター3	Microtremor observations in Tono City, Iwate Prefecture Preliminary results(岩手県遠野市における常時微動測定)	○Anupap Wanasawan., Ai Sato, Hidekazu Yamamoto, Tsuyoshi Saito(Graduate School of Engineering, Iwate University), Fumika Sato,Nobuo Doi(Iwate University)
ポスター4	平常時と災害時の防災行動の要因分析に基づいた大地震に対する住民の災害対応力に関する研究	○木村宇広(東北大学大学院)、佐藤健(東北大学災害科学国際研究所)
ポスター5	アレイ観測された水平動微動の周波数波数解析法によるLove波の位相速度の推定	山本英和、○金崎慶次、齊藤剛(岩手大学)
ポスター6	浅部2次元構造探査を目的としたリニアアレイで観測された短周期微動の地震波干渉法解析	山本英和、○佐々木恭輔、齊藤剛(岩手大学)
ポスター7	福島県のリニアアレイで観測された常時微動の地震波干渉法解析 その2	○佐藤史佳(岩手大学大学院)、山本英和、齊藤剛(岩手大学)
ポスター8	岩手大学でアレイ観測された三成分微動記録への地震波干渉法解析の適用可能性について	山本英和、○平賀証人(岩手大学)、佐藤史佳(岩手大学大学院)、齊藤剛、金崎慶次(岩手大学)